

## ドライアイについて

涙には、目の表面に広がって崩れない性質がありますが、ドライアイとはその性質が失われ、崩れやすくなり、目の不快感や見えにくさを生じる病気です。日本で2200万人もの患者さんがいるといわれ、さらに増加しつつあります。

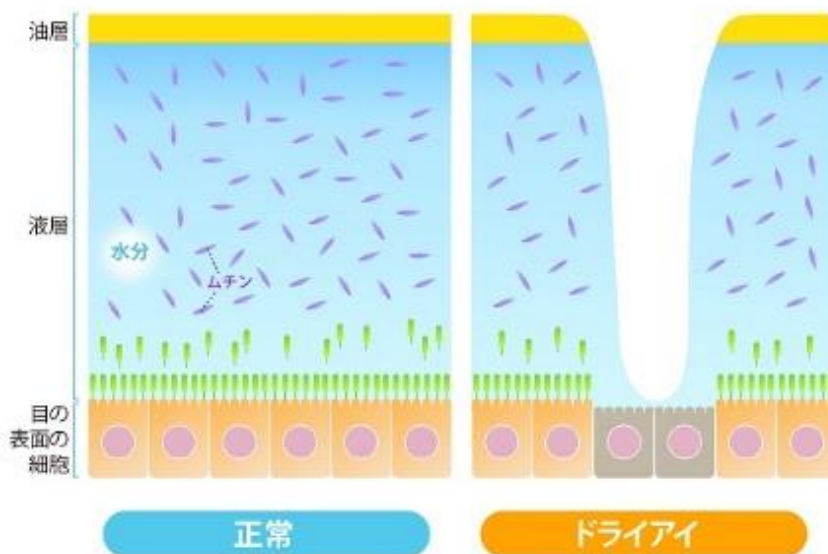
### ●ドライアイの臨床症状

目が乾くことで痛み、痒みなどの症状が出ます。また、目がかすむ、疲れる、まぶしいなどの症状が出ることもあります。

長時間画面を見るなどのライフスタイル、加齢、喫煙、エアコン下・送風・低湿度などの生活環境、コンタクトレンズ等がリスク因子となります。

### ●涙の構造

涙は目を覆う1枚の膜(涙液膜)のように広がっており、油層とムチンや水分を含んだ液層に分かれています。ドライアイでは油や水分の分泌が少なくなっており、涙液膜が崩れやすくなっています。涙が少ないとその下の細胞にキズができることがあり、それが痛みやかゆみを引き起こします。



## ●ドライアイ治療薬

ドライアイ治療薬は2024年5月現在ジクアス(一般名:ジクアホソルナトリウム)とムコスタ(一般名:レバミピド)があります。どちらも涙液分泌量低下などを補う対症療法です。

### ジクアス点眼液3% (2010年発売)

**作用機序** : P2Y2受容体に作用し、細胞内のカルシウムイオンの濃度を上昇させることにより、水分とムチンの分泌を促進させます。

**用法** : 1日6回

**特徴** : 従来ドライアイに対して使用されていたヒアルロン酸ナトリウムや人口涙液とは全く異なる作用機序をもつ薬剤です。この機序をもつ点眼薬は世界初でした。

### ジクアスLX点眼液3% (2022年発売)

**作用機序** : ジクアスと同じ

**用法** : 1日3回

**特徴** : 粘稠化剤を加えることにより、眼表面貯留時間を延長し、点眼回数を減らした製剤です。頻回な点眼による患者の負担が減少し、適正な点眼回数の維持が容易になりました。

### ムコスタ点眼液UD2% (2012年発売)

**作用機序** : 涙の成分であるムチンの産生を促進し、涙の状態を安定させることで、角結膜上皮の障害を改善させます。

**用法** : 1日4回

**特徴** : 防腐剤無添加のため、小分けされており、1回使い捨ての製剤です。もったいない、かさばるため管理が大変との意見もあるようです。懸濁液のため点眼直後は目がかすみます。

### レバミピド懸濁性点眼液2%「参天」(2023年発売)

**作用機序** : ムコスタと同じ

**用法** : 1日4回

**特徴** : ムコスタ点眼液の後発品。使い捨てではなく、通常の点眼容器になりました。薬液の成分や製剤上の特徴はムコスタと同じです。